

## 平成23年度 第3回 機械工業振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

開催日時:平成23年11月2日(水) 15:00~17:00

開催場所:財団法人 JKA 4A・B会議室

出席者:[委員]大山永昭(委員長)、金子聰(委員長代理)、市江正彦、岡俊子、鴨志田晃、河田聡、中原秀樹、野坂雅一、吉岡忍(50音順・敬称略)

[事務局]笹部俊雄、竹内紀文、宮田昌之、坂井政夫、佐藤弘和

### [議題]

(1) 平成24年度補助事業審査の基本的な考え方について(案)

(2) 補助事業評価について

(3) その他

### [審議結果]

(1) 平成24年度補助事業審査の基本的な考え方について(案)は、資料2-3事業審査シート(案)に一部修正を加えることで承認された。

(2) 補助事業評価については、評価作業部会の方向性について承認された。

### [意見概要]

・申請書をきちんと書かせることが大切であり、その為には事前に審査の基準をはっきりと示すべきであろう。申請者に対するサポートも、JKAの役割ではないか。

・審査案件が、その事業分野において個として優れているのか、JKAが目指す補助事業群の方向性に合致しているかの二つの視点がある。何をJKA補助事業の特徴とするかについて、今後検討が必要であろう。

・審査について検討するにあたっては、透明性を確保することや厳格性を保つことも大切だとは思いますが、あまり細かい手続きなどにとらわれ過ぎることなく、良い事業を採

択してそれを補助事業者に実施してもらうという、本来の趣旨も重視していくべきではないか。

・申請書に記載された事業内容は素晴らしいが、実施できなかったという事態は避けなければならない。補助事業の結果に対しては評価を実施するが、審査の段階でも、事業実施の構成メンバー等の詳細について、可能な限り把握できた方が良いのではないか。

・事業審査シートの審査項目と事前計画/自己評価書の各項目の関係を一体化して委員審査の効率化を図ること、また、審査がやり易くなるように、事務局審査の内容を各委員に分かり易く示すなど、審査方法については更に工夫が必要ではないか。

・主査、副査がお互いに誰なのかが分かっていた方が、審査がやり易いのではないかと思われる。審査事業審査シートには、最初から主査、副査の氏名を記入した方が良いのではないか。

・同一分野だけではなく、幅広い分野に渡る採点となると難しいところもある。スコアリングガイドがあると良い。

・採点を1点とするとしても、「内容が劣っている1点」「資料から内容が読み取れない1点」という2パターンがある。採点において、これらを区別できるものにした方が良いのではないか。

・採点は審査項目毎に行うのだから、審査基準も項目毎の判断と判るように、5点を「特に優れている」、4点を「やや優れている」という表現とした方が良いのではないか。

・自転車については、最近話題になっているブレーキを装着していない自転車で公道を走ることの問題や道路に自転車専用レーンが殆ど設置されていない現状など、様々な課題がある。より良い自転車社会の実現に向け、補助事業の取組みについて更に検討したらどうか。

(意見は順不同)

\*本議事要旨は、JKA事務局が作成した。